

衆院1区、県議選予定候補(1次)を発表



記者会見で決意を表明する（左から）大内久美子、江尻かな、鈴木さとし、山中たい子の各予定候補（10月30日、県庁記者クラブ）

安倍内閣の暴走と対決し、 くらしと平和を守るため全力

衆院茨城1区、県議選予定候補の発表について

2013年10月30日 日本共産党茨城県委員長 田谷 武夫

衆院茨城1区予定候補者について

日本共産党は今年の参院選挙での躍進をさらに広げ、次の国政選挙では本格的な前進をはたすため全力をつくします。その立場から現在5期目の大内久美子県議について、来年12月の県議選は、新人候補とバトンタッチし、衆院小選挙区茨城1区から立候補し当選をめざします。

自公両党で参議院の過半数を確保した安倍政権は、あらゆる分野で暴走しています。しかし、消費税増税でも原発再稼働でも憲法問題でも、多くの国民、県民が反対の声を突きつけています。

日本共産党は、消費税増税中止法案の共同提出を各党によびかけ、ブラック企業規制法案を参院に提出し、暮らしと平和を守るため奮闘します。あらゆる分野で県民の共同運動を広げます。そして次の国政選挙では、大きな躍進をはしたいと思えます。

県議選予定候補の1次発表について

来年12月に県議選が行われます。水戸市選挙区に現水戸市議の江尻かなさん、筑西市選挙区に9月の県議補選で当選した現職の鈴木さとしさん、つくば市選挙区に前県議の山中たい子さんをたててたかいます。さらに取手選挙区での議席回復、いくつかの選挙区で議席に挑戦し、議席の倍化―4議席以上をめざします。4議席になれば、代表質問ができるようになります。

言権が大幅に増えます。

働く県民の所得は、10年前に比べ約9割に減っています。茨城県の財政力は全国8位なのに、医療、福祉、教育は、全国最下位クラス。工業団地が売れ残り、常陸那珂港に入港する船は1日、3・5隻程度。生活水も工業用水も余っているのに、八ッ場ダムや霞ヶ浦導水事業に多大な税金がつかまわれています。

県議会は日本共産党を除く自民、民主、公明のオール与党で、毎年の予算決算に賛成しています。日本共産党は、税金の無駄づかいをやめさせ、くらしを守るため奮闘します。

東海第2原発の廃炉を願う署名は、約30万筆に達し、過半数の市町村議会で廃炉、再稼働中止の意見書が可決しています。東海第2原発の再稼働をやめさせ原発即時ゼロ、子どもの健康調査の実施を求めます。

日本共産党は県議会改革に取り組んできました。一般質問の年間30人枠の撤廃を求め若干広がりました。毎議会で討論を行い、県民にとって悪い議案に対し問題を明らかにしてきました。政務調査費について1円から領収書の添付を求め実現しました。

県民の声が生きる議会をつくるため奮闘します。みなさんのご支援、ご協力をお願いします。

日本共産党の見解を紹介します。

●躍進募金にご協力ください。

茨城民報

2013年11月号外

発行/日本共産党茨城県委員会

〒310-0836水戸市元吉田町2-3

電話029(247)6523

FAX029(248)3023

日本共産党

県民要求実現に全力 4人の予定候補が決意表明

衆院茨城1区

大内久美子

水戸市議、県議とあわせて40年、本
当にお世話になり、ありがとうございます
ました。

私の原点は、弱い立場の人にこそ、
政治の光をあてることです。これまで
の経験を生かし、自民党の弱者いじめ
の悪政を変え、温かい政治実現のため
、全力をつくす決意です。

若者を使い捨てにする労働法制の改
悪を許さず、賃上げ、雇用の改善をは



かります。消費税増税をやめさせ、医療、
年金、介護など、社会保障は切り捨てては
なく、充実させてまいります。

東海第二原発は廃炉にし、原発ゼロ、自
然エネルギーへの転換で安全の社会をつく
ります。アメリカと一緒に戦争をする国に
変えようとする、集団的自衛権の強行や、
憲法改悪を許さず、平和と民主主義を守り
ます。

日本共産党の前進を、多くの方が願って
います。江尻さんにバトンを渡し、県議選
での議席倍増、国政での躍進、この希望あ
るたたかいに力を合わせましょう。

私も力いっぱい働きます。ご支援を心か
らお願いいたします。

略歴 ● 1949年生まれ ● 茨城県議会議員5期
● 茨城革新懇世話人 ● 日本共産党中央委員、県
副委員長 ● 茨城大学養護教員養成所卒 ● 水戸市
堀町在住 ● 家族 夫

県議選水戸市区

江尻かな

水戸市議になって11年目になります。
多くの方に支えられ、「子育ても仕事も老
後も安心の水戸」をめざし一歩一歩前進し
てきました。

10年前、子どもの医療費補助は0.2
歳しか受けられませんでした。「お金の
心配なく子どもを病院に連れていけるよ
うに」との願いを市に訴え続け、ちよう
ど今月(2013年10月)から中学3年
生まで対象が広がりました。インフルエ



ンザなど子どもの予防接種費への補助も実施
されています。「保育所に入れない子どもを
なくして」と保育所の増設を求め続け、10
年間で水戸市の認可保育所は7カ所増、定員
を約1000人増やすことができました。そ
れでも待機児童がいます。また、「子どもが
遊べる児童館を水戸市にも」と新婦人の皆さ
んと署名を集めて市長に届け、「わんぱー
く・みと」や「はみんぐばーく・みと」をつ
くる大きな力になりました。

私は、市民の願いは時間がかかっても必ず
実現する。市民の声が行政を動かす力だとい
うことを確信しています。

皆さまのご支援を心からお願いたしま
す。

略歴 ● 1973年生まれ ● 水戸市議会議員3期
● 寿小学校PTA会長 ● 日本共産党県委員 ● 筑波
大学芸術専門学群建築デザイン卒 ● 水戸市平須町
在住 ● 家族 夫 子3人

県議選筑西市區

鈴木さとし

9月の県議補選では大変お世話になり
ありがとうございます。新中核病院問題で
は、初質問でさっそく住民の願いと熱意を届
けることができ、知事からあらためて「原点
にかえり当初の『新中核病院』計画の立場で
すすめる」「やれることは何でもやる」趣旨
の心強い答弁がありました。両市長、医師会
との議論の流れもすっきりしてきました。命
がかかった問題です。早期実現のために、こ
の医療圏全体の医療をどうしていくか、様々

な政治的な立場を超えて、あくまで医療と
住民の目線でとらえたいことが大切だと考え
ています。新中核病院実現のために精一杯
奮闘します。

県民のくらしと雇用、地域経済などが非
常に深刻になってきているのを実感してい
ます。TPPや消費税増税への危機感、原
発への不安もひろがっています。

全国8位の財政力をくらしに生かすこと
ができれば、筑西も県西ももっとよくなる
と考えています。

保守の人とも自民党の人とも党派を超え
て一致点で力を合わせ、願いを県政に届け
て実現に力を尽くします。一層のご支援を
お願いいたします。



略歴 ● 1944年生まれ ● 9月の県議補選で当
選 ● 下館市議、筑西市議通算10期 ● 日本共産党
筑西市委員 ● 下館一高商業科卒 ● 筑西市樋口在
住 ● 家族 妻

県議選つくば市区

山中たい子

3年前の雪辱を果たすためにと決意しま
した。

原発事故から2年7ヶ月、収束どころ
か、放射能は拡散し、汚染水はトラブル続
きで日々深刻な事態になっています。福島
生まれの私にとって他人事ではありません
。

私は、東海第二原発の廃炉、「原発ゼ
ロ」への取り組みを多くの県民と共同して
すすめます。被災者の方々の苦難に寄り添
います。

い、その声や願いを政治の場に届け、苦難軽
減のために力を尽くします。

筑波研究学園都市の建設が閣議了解されて
から50年。つくばの街づくりは、TX沿線開
発の進展と公務員宿舎の大量の廃止と売却に
よって、大きな転換点に立っています。職住
近接した落ち着いた職場と住宅の研究環境が
科学の発展を牽引してきました。研究機関の
再編と独立行政法人化によって、筑波研究学
園都市の存立基盤そのものが掘り崩されてい
ます。研究拠点としての整備と若手研究者の
育成は、喫緊の課題です。

くらしの願いを実現するため全力を尽くし
ます。



略歴 ● 1951年生まれ ● 元県議(2期) ● 桜
村議1期、つくば市議4期
● 日本共産党茨城県委員 ● 日本大学II部法学部
卒 ● つくば市倉在住 ● 家族 夫